

《はじめに》

逗子市は、相模湾に面し三浦半島のつけ根に位置しています。三浦半島の西北部にある逗子は、北は鎌倉市、横浜市と接し、東は横須賀市、南は葉山町と隣接しています。面積は17.28平方キロメートル、人口約5万7千人で青い海とみどり豊かな街です。

1949年（昭和24年）1月、現JR逗子駅前に米軍から移管され、600冊の蔵書の提供を受けたカマボコ型の「逗子アメリカ図書館」が開館しました。

1966年（昭和41年）6月、逗子市立図書館が開館し、利用しやすい市民のための図書館を目指して運営を開始しました。

2005年（平成17年）4月には、市民ニーズの多様化や情報化の進展に対応した21世紀型の図書館として文化・教育ゾーンに現在の図書館が開館しました。

開館後は、県内でもトップクラスの利用実績を維持し、2016年度（平成28年度）には、年間53万人を超える入館者、52万点以上の資料の貸出、31,800人を超える逗子市民が登録し（市民登録率55%）、市民一人当たりの貸出は年間9点と大変利用率の高い図書館になりました。

開館から12年が経過した2017年（平成29年）8月16日には、入館者700万人を達成しました。

その一方で、情報化の急激な進展、少子高齢化、財政の緊縮化、公共施設の管理運営の制度改革など、図書館を取り巻く環境は大きく変化してきています。

なかでも逗子市は際立った人口減少と少子高齢化が深刻な課題となっており、「人口減少と少子高齢化を乗り越える持続可能な社会の構築」に向けて諸施策を実行しています。

図書館もこれらの課題をふまえ、図書館運営に職員一丸となり取り組んでいます。

これまで図書館は、市民の趣味、娯楽や教養に関する読書支援など生涯学習活動に必要な資料を提供してきました。

これからの図書館には、地域の文化活動の拠点としての役割も求められています。

2011年（平成23年）からは、「逗子市立図書館のサービス目標 2011」に基づいて図書館を運営しています。その現状と課題を踏まえ、これからのサービス計画と目標として「逗子市立図書館のサービス目標 2018」を策定します。

これからも、いつでも気軽に利用できる施設、逗子市の文化創造の礎として、市民の日常生活、文化の創造活動、地域活動につながる図書館を目指し、市民の皆さんの期待にこたえるために、より一層のサービス向上に取り組めます。